

授業科目	高次脳機能障害学Ⅲ				
担当者	掛川 泰朗（実務経験者）				
実務経験者の概要	身体障害領域の病院で複数年以上の実務経験あり。				
学科名	作業療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

高次脳機能障害の各総合検査について、目的を理解し、演習を通して実習技術を習得し、結果より症状をまとめ、障害機序に沿った治療プログラムを立案できるようになる。

## ■ 到達目標

1. 高次脳機能の検査について解釈ができる。
2. 総合検査結果から症状を分析し、障害機序について考察できるようになる。
3. 障害機序に対応したリハビリテーションプログラムを立案できるようになる。

## ■ 授業計画

- 第1回 高次脳機能評価～治療の説明
- 第2回 症例検討1
- 第3回 症例検討発表
- 第4回 症例検討発表と解説
- 第5回 症例検討2
- 第6回 症例検討
- 第7回 症例検討と解説
- 第8回 臨床での高次脳機能障害とまとめ

## ■ 評価方法

【科目試験（レポート）50%】 報告・発表点50% 授業中の居眠り、私語をするごとに-5点を減点する。

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

高次脳機能障害学ⅠとⅡで学んだ各高次脳機能障害の症状・評価方法・アプローチ方法を復習しておくこと。

## ■ 教科書

書 名：高次脳機能作業療法学（標準作業療法学）  
 著者名：能登真一  
 出版社：医学書院

## ■ 参考図書

書 名：高次脳機能障害のリハビリテーション [DVD 付き] 実践的アプローチ  
 著者名：本田哲三  
 出版社：医学書院

## ■ 留意事項

欠席・遅刻に注意すること。意欲的に授業に参加すること。

#### ■ 講義受講にあたって

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。